

平成25年7月11日

島原市政記者クラブ 各位

工事設計額に係るメール文の外部漏出について、市長コメントを下記のとおり、お知らせいたします。

記

島原市長 古川 隆三郎 コメント

現在、事実関係の徹底調査と関係部へ設計変更の指示、再発防止策の早急な検討を指示しております。

本来、外部に漏れてはならない情報が漏出してしまった事実は非常に重く受け止めており、市民の皆様にご迷惑をお掛けしたことに、まずもって私の管理監督責任という意味で深く反省し、心からお詫び申し上げます。市役所全体の綱紀粛清を徹底し、職員一丸となって信頼回復に努めてまいりたいと存じます。

【途中経過報告 別紙のとおり】



有明海にひらく湧水あふれる
火山と歴史の田園都市 島原

担当：契約管財グループ長

下岸

電話：0957-62-8024

別紙

メール文の外部漏出について

7月5日（金）市民の方が、大手広場で工事名に概算設計額の入ったメール文を拾得され、7月8日（月）に市長へ報告がありました。

この文書は、平成25年7月2日、島原市水道局から本市総務部契約管財グループ契約検査班へ建設工事指名選定委員会の開催を依頼するため、庁内メールで送信したものであります。

メール内容は、2件の工事名に概算の設計額が記載されたものであります。部局間の事務連絡書類であり外部に漏出しないように管理するべきものであります。

市民からの報告後ただちに、市長は副市長・関係部局へ事実関係を調査するよう指示するとともに、当該工事の設計変更と再発防止策を早急に検討するよう指示がなされたところであります。

漏出の原因の一つとしては、当該文書を窓際に置いていたことにより、風にあおられ開いていた窓から外に飛んだものと思われませんが、現在、事実調査による原因の究明を行っているところであります。

【これまでの対応】

- | | |
|----------|---|
| 7月 8日（月） | ・市民の方から市長に対し、メール文を取得しているとの報告
・市長から副市長へメール文の漏出に対する事実確認の調査の指示
・副市長から水道局長へ設計変更の指示、契約管財グループ長へ事実関係の調査の指示
・契約管財グループ長から契約検査班職員に対し事情聴取及び同グループ全職員に対し公文書管理の徹底を指示 |
| 7月 9日（火） | 関係職員から聞き取り |
| 7月10日（水） | 関係職員から聞き取り |
| 7月11日（木） | 市議会全員協議会で状況報告 |

【緊急的な公文書の漏出の再発防止策について】

公文書の適正な管理については、これまでも全庁的な公文書管理の徹底に努めてきたところでありますが、今回、公文書の漏出という不適切な文書管理の事実を重く受け止め、まずは次のことを徹底してまいります。

- 1 文書の保管については、ファイリングを徹底させる。
- 2 用途不要となった資料等で、個人情報、入札情報等に関するものについてはシュレッダーにより廃棄する。